

巻頭インタビュー

母国の被災者ために  
～フィリピンコミュニティーミヤギ  
による台風被災地支援活動～



写真右から

峰岸マリアさん  
(フィリピンコミュニティー  
ミヤギ会長)

ソクラテス サンティさん  
(同幹事)

庄司マリーンさん  
(同創設者、顧問)

昨年11月にフィリピンに上陸した台風30号(ヨランダ)は、フィリピン各地に甚大な被害をもたらしました。県内でもさまざまな支援の動きがありましたが、なかでもフィリピン出身の方々は、各地でチャリティイベントや募金活動を手掛けるなど、母国の支援のために大変熱心な支援活動を行いました。今回のインタビューでは、私たちMIA、そして東北大学留学生協会(TUFSA)と連携して街頭募金を行い、そして実際に被災地を訪問してきたフィリピンコミュニティーミヤギ(略称フィルコム)の方々にお話を伺いました。

——まず今回の支援活動を始めた経緯を教えてください。

マリア 今回の台風の被害は、非常に大きなものでした。メディアを通して現地の様子が分かってくるうちに、同じフィリピン人として、ただ見ていることはできない、ほっておけないという思いに駆られました。自分たちにできることは小さなことかもしれないけど、それは現地の人にとっては大きな助けになるのでは、と思ったのです。

マリーン 私は東日本大震災で自宅を流失しました。被災者の辛さがわかるので、とても心が痛みました。そしてその際にフィリピンからも様々な支援を受けたので、今度は私たちが恩返しをする番だと思ったのです。それで、フィルコムのメンバーに今回の支援活動を提案しました。

サンティ 同じです。私も塩釜で被災し、ショッピングセンターの屋上で二晩を過ごしました。その時にいろいろな方に助けてもらった。その時の気持ちが思い出されて、今度は自分たちが行動を起こすべきだと。だから、マリーンさんの提案に一も二もなく賛同しました。

——募金を集めて、それを誰かに託さずに、自分たちで被災地に向出して支援活動を行ったというのは、素晴らしい行動力ですね。



2013年11月に仙台市内で行った街頭募金

マリーン 例えばNGOなどの団体にお金を託しても、本当に被災者に支援が行きわたるのか保証はないので、自分たちで支援物資を購入して、直接手渡そうと思いました。

マリア そうですね。自分たちの手で、確実に物資を手渡したかった。サンティ 残念なことですが、せっかく支援物資がフィリピンに運ばれても、実際には被災地には届けられずに、いつまでも倉庫に積み置かれているという話も聞いていたので、これは実際に自分たちが行かなければと思ったのです。

——街頭募金は11月下旬に仙台市内の繁華街2か所に分かれて行いました。フィルコムのみなさんは4時間ほとんど立ちっぱなしで、支援を呼び掛ける声を上げ続けていましたね。

サンティ そうでしたね。でも全く疲れは感じなかった!

マリア 私もです。「休んでください」と何度も声を掛けてもらいましたが、休憩を取らなくても不思議と大丈夫でした。

マリーン フィリピンの被災者が支援を本当に必要としているということを訴えたかったし、私たちの気持ちを早く被災地に届けたいと思っていたので、とにかく声を出し続けなければと必死でした。寒さや疲れは気にならなかったです。24時間続けていたかったと思っていただいております。

——4時間で83万円のお金が集まりました。これには正直私たちも驚きました。

サンティ 感動しました。幼いお子さん、高校生、高齢者など、大勢の人が協力してくれて、とても嬉しかったです。日本人がこういう活動に協力的だというのはわかっていましたが、やはり宮城の人たちは震災を経験しているので、被災者の気持ちがよくわかるのだと思いました。

マリア 「こんなに集まるなんて!」と本当にびっくりしました。そして「フィリピンの人たちは見捨てられていないんだ」と温かな気持ちになりました。持っていた募金箱がどんどん重くなって、次の日は肩が痛くなるほどでしたよ。

マリーン MIAやTUFSAの皆さんのご協力のお蔭で、短時間で大きな成果を挙げる事ができて、とてもありがたかったです。

—募金で集まったお金は、その後実際にどのように支援活動に活用したのですか。

サンティ 1月にフィリピンに渡り、集まったお金で支援物資を購入し、セブ島北部にあるタピロンという集落の人たちに手渡しました。

マリーン 私の姪がその近くに住んでいて、タピロンは甚大な被害を受けているにも関わらず、殆ど支援の手が伸びていないということを実際に確かめていたので、彼女と連絡を取り合って、その地区を支援することにしました。現地でのカウンターパートがいないと、こうした活動は出来ませんから。これは街頭募金をする前に既に整えていたことです。

サンティ 我々に私の妻を加えた4人が現地入りし、3日間は内陸の被害のなかった地域で物資の購入や仕分けをして、1日はタピロンでの配布活動に充てました。毎日本当に目が回るほどの忙しさでしたよ。

—実際にどんな支援物資をどのように配ったのですか。

サンティ 食器や寝具、洗濯用のたらいやバケツといった生活用品、それからもちろん食料も。とにかく毎日の生活に必要なと思われるあらゆる物を組み合わせました。被災された方一人あたり大きな袋3つずつのセットになりました。

マリーン 家と家具以外のもの全てと言っていいくらいです。皆さん生活用品を全て失って困っている、ということでしたから。物資は4トントラックに積んで運び、集落到住む200世帯の方々に直接お渡ししました。

—皆さん喜ばれたでしょうね。

マリア はい。「こんなにもらっていいんですか」と驚きつつ「すごく助かる!」と皆さん喜んでくださいました。私も皆さんの笑顔が見られて嬉しかったです。



支援物資をトラックに積み込む



支援物資の配布を待つ現地の方々

サンティ 初めて台風の被害の様子を見たときはショックで言葉を失いました。屋根もないような家々が続いていたのですから。でも、被災した方々が我々の気持ちを笑顔で受け取ってくれる様子を見て、来て良かった、役に立てて良かった、と思えました。

マリーン 私も、皆さんが感謝の言葉を口々に述べてくれて、こちらが感激しました。

—被災地で実際に物資を手渡すというのは容易なことではなさそうですね。混乱などはなかったのでしょうか。

マリーン これも私の姪がアレンジしたことなのですが、現地の教会の方がきちんと準備をしてくれていて、物資の配布も礼拝所の敷地内で行ったので、とてもスムーズでした。

サンティ 前もって物資をお渡しする人の名前をリストにして、引換のためのチケットを配っていたのです。当日はそのチケットの代わりにお渡しするだけでしたので、特に混乱はありませんでした。教会の関係者だけでなく、現地の方々はとても協力的で、物資の梱包や運搬など、様々なお手伝いをしてくれたのもとても助かりました。

マリア ただ、天気が悪くてとても寒かった(笑)!困ったのはそのことくらいですね。

—今回の支援活動を振り返って、今どんなことを感じていますか。

マリア 母国フィリピンの方々のお役に立てたことをとても嬉しく思っています。また何かあったら、今回のような支援活動をするつもりです。

サンティ 私も同じ気持ちです。でも本当はもう何も災害が起こらないのが一番なのですけどね。

マリーン 実は活動を始める前は、いろいろと心配の声も上がっていました。「募金で集まったお金は本当に有効活用できるのか、現地で支援物資を配るなんて無理なのではないか」と。でも、私は最初から現地のことを調べて綿密に計画していたので、しっかりした支援が出来るという確信がありました。私たちのことを信用していただき、とてもありがたいと思っています。皆さんのこれまでのご支援に心から感謝しています。そして、一緒に活動してきたフィルコムメンバーにもお礼を言いたいですね。

インタビュー協力:カトリック元寺小路教会



### JICA宮城デスクからのお知らせ

※JICA=独立行政法人国際協力機構(開発途上国に対する総合的な二国間援助機関で、技術協力・有償資金協力・無償資金協力を行っています。)

TEL.022-275-5540 E-mail jicadpd-desk-miyagiken@jica.go.jp JICA東北ホームページ <http://www.jica.go.jp/tohoku/>

## 平成26年度春募集JICAボランティア「体験談&説明会」開催のお知らせ

「体験談&説明会」では、JICAボランティア経験者の体験談発表がパネルトーク形式で予定されているほか、JICA職員との個別応募相談、要請の詳細情報などの資料閲覧が可能です。

宮城県での開催は以下のとおりです。

お申込み不要、入場無料、入退場自由ですので、どうぞお気軽にお越しください。

### ●青年海外協力隊・シニア海外ボランティア平成26年度「体験談&説明会」(3回とも概ね同内容)

●4月5日(土)14:30-17:00

AER 28階 エル・ソーラ仙台 大研修室

●4月13日(日)10:00-12:30

AER 6階 ネットU セミナールーム2

●4月23日(水)19:00-21:00

AER 6階 ネットU セミナールーム2

### ●平成26年度JICAボランティア春募集期間

●4月1日(火)~5月12日(月)

※青年海外協力隊は20~39歳まで、シニア海外ボランティアは40~69歳までの方が対象。

詳細はJICA東北ホームページ内にて『JICAボランティア』をクリックし、ご覧ください!

個別の対応をJICA東北やJICA宮城デスクにて行ってまいります。お気軽にお問い合わせください。

このコーナーでは、県内の国際活動団体の2014年4月～5月の活動予定をご紹介します。

## MIAイベントカレンダー

2014	4	S	M	T	W	T	F	S	5	S	M	T	W	T	F	S
	4			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
		6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
		13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27
		20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31			
		27	28	29	30				25	26	27	28	29	30	31	

※●はイベント開催予定日です。詳しい内容については以下でご確認ください。

アイコンの見方

●: 主催

■: 会場

🕒: 時間

✉️: 申し込み

💰: 参加費

☎️: 電話

FAX: FAX

✉️: Eメール

🌐: ホームページ

## 4月 APRIL

## 4・5月 毎週日曜日

## 瑞巖寺ボランティアガイド

● 松島善意通訳者の会

■ 瑞巖寺

🕒 10:00～15:00

🕒 当日受付にて

💰 無料

🌐 <http://www.geocities.jp/matsushimagw/>

## 4・5月 毎週日曜日

## 円通院ボランティアガイド

● 松島善意通訳者の会

■ 円通院

🕒 10:00～15:00

🕒 当日受付にて

💰 無料

🌐 <http://www.geocities.jp/matsushimagw/>

## 8日

## MIA日本語講座夜間初級1・2

● 公益財団法人宮城県国際化協会

■ 宮城県仙台合同庁舎7階

🕒 18:30～20:30

(以降、毎週火。9月30日まで)

☎️ 電話・FAX・メール

💰 12,000円(教材費別途)

☎️ 022-275-3796

FAX 022-272-5063

✉️ mail@mia-miyagi.jp

🌐 <http://mia-miyagi.jp/>

## 普及・実証事業募集要項説明会

(ODAを活用した中小企業海外展開支援制度)

● 独立行政法人 国際協力機構(JICA)

■ AER(アエル)6階ネットU

🕒 14:00～16:15

🕒 要事前申込

💰 無料

☎️ 022-223-4772

FAX 022-227-3090

✉️ Takahashi.Hiroaki@jica.go.jp

🌐 [http://www.jica.go.jp/sme\\_support/index.html](http://www.jica.go.jp/sme_support/index.html)

## 14日

## MIA日本語講座初級1・2

● 公益財団法人宮城県国際化協会

🕒 10:00～12:00(14日はクラス分けテスト。以降、毎週火～金。9月25日まで)

💰 18,000円(教材費別途)

☎️ 022-275-3796

FAX 022-272-5063

✉️ mail@mia-miyagi.jp

🌐 <http://mia-miyagi.jp/> ※4月8日と同じ

## 15日

## MIA日本語講座中級

● 公益財団法人宮城県国際化協会

🕒 13:00～15:00

(以降、毎週火・木。9月18日まで)

💰 9,000円(教材費別途)

☎️ 022-275-3796

FAX 022-272-5063

✉️ mail@mia-miyagi.jp

🌐 <http://mia-miyagi.jp/> ※4月8日と同じ

## 16日

申請取次行政書士による外国人のための入管  
手続無料相談会

● 宮城県行政書士会

■ 仙台市青葉区役所 4階市民相談会会場

🕒 13:00～16:00

☎️ 電話受付または予約なしでもOK

💰 無料

☎️ 022-261-6768

FAX 022-261-0610

地球環境を守る「日中友好植林訪中団」派遣  
(吉林省九台生態保護林建設事業)

※九台での植林は今回で終了いたします。

● 宮城県日中友好協会

■ 吉林省長春市九台

🕒 4月16日(水)～4月20日(日) 5日間

● 宮城県日中友好協会

💰 128,000円

(空港使用料:1,530円、燃油サーチャージ:12,000円を含まず)

※お一人部屋追加代金20,000円。

☎️ FAX 022-274-3811

✉️ jcfa-miyagi@rose.plala.or.jp

🌐 [www16.plala.or.jp/miyagikenn/](http://www16.plala.or.jp/miyagikenn/)

## 17日

## ユダ福音書の謎を解く

● アフリカ・セミナーの会

■ 仙台国際センター研修室

🕒 10:00～12:00

☎️ 不要

💰 700円

☎️ FAX 022-362-7907

## 18日

## MIA日本語講座漢字1・2

● 公益財団法人宮城県国際化協会

🕒 13:00～15:00

(以降、毎週金。9月26日まで)

💰 7,200円(教材費別途)

☎️ 022-275-3796

FAX 022-272-5063

✉️ mail@mia-miyagi.jp

🌐 <http://mia-miyagi.jp/> ※4月8日と同じ

## 19日

## ホームステイ

● 大河原日中友好協会

■ 会員宅

🕒 19日13:30～20日14:00

☎️ FAX 0224-52-6606

## 19日

## 韓国本場のキムチ作り

● 仙台韓国料理チーム

■ 仙台国際センター

🕒 10:00～13:00

☎️ 電話、FAX、メール(3日前まで)

💰 1,000円

☎️ 080-5009-4181

FAX 022-395-5524

✉️ k.s.5482@ezweb.ne.jp

## 20日

## 観桜会

● 大河原日中友好協会

■ 大河原町白石川右岸河川敷

🕒 10:00～

☎️ 電話

💰 留学生1,000円、一般2,000円

☎️ FAX 0224-52-6606

## 5月 MAY

## 3～5日

## インターナショナルデイズ2014

「タイ・癒しの楽園」

● セツ浜国際村事業協会

■ セツ浜国際村

🕒 3日～5日 10:00～16:00

(3日のみオープニングセレモニーを9:50より開催)

💰 無料(公演、体験等一部有料)

☎️ 022-357-5931

FAX 022-357-5932

✉️ kokusai@shichigahama.com

🌐 <http://www.shichigahama.com>

## 12～25日

## 写真展「世界の仕事」

● アリانس・フランセーズ仙台

■ カフェモーツアルト(一番町店)、カフェモーツアルトアトリエ

🕒 カフェモーツアルトおよびカフェモーツアルトの営業時間内

☎️ 不要

💰 無料

☎️ 022-225-1475

FAX 022-225-1407

✉️ contact@alliancefrancaise-sendai.org

🌐 <http://alliancefrancaise-sendai.org/ja/>

## 15日

## いのちの岐路―大震災・原発事故を体験し

今後いかに生き続けていくか

● アフリカ・セミナーの会

☎️ 022-275-3796

FAX 022-272-5063

✉️ mail@mia-miyagi.jp

🌐 <http://mia-miyagi.jp/> ※4月17日と同じ

## 21日

## 申請取次行政書士による外国人のための入管

手続無料相談会

● 宮城県行政書士会

☎️ 022-261-6768

FAX 022-261-0610

✉️ mail@mia-miyagi.jp

🌐 <http://mia-miyagi.jp/> ※4月16日と同じ



このコーナーでは、MIA宮城県国際化協会の最近の動きをお知らせいたします。  
 いずれの件も、お問い合わせは ☎022-275-3796 E-mail mail@mia-miyagi.jp まで。お気軽にどうぞ。

## 篤いご支援をありがとうございました。～フィリピン大型台風被災者支援募金活動のご報告～

宮城県国際化協会では、昨年11月にフィリピンを襲った大型台風の被災者支援のため、フィリピン出身者や留学生との協働による募金活動のほかに、募金専用口座を開設し独自の募金活動を行って参りました。

一日も早く被災地へ届けるため、口座開設期間はわずか40日間と短期間でしたが、県民の皆様から1,085,000円もの義捐金が寄託され、併せて当協会からも三十万円を拠出し、1年半ばにPHILCULTAROS-AOTS (以下P-AOTSと略します)という団体へ送金することができました。P-AOTSは、日本で技術研修を受けフィリピンに帰国した方々が構成する同窓会組織ですが、東日本大震災発生後のいち早く当協会をご訪問くださり約三十七万円の義捐金を寄託してくださいました。当協会ではその義捐金を充当し、津波被災地の日本語教室再開支援活動などを行うことができました。今回の募金活動は、あの時のP-AOTSの皆様のご厚情に報いるために、広く皆様にご協力を呼びかけ実現したものです。

去る2月26日、P-AOTSから在フィリピン大使館商務官は枝氏同席のもとフィリピン赤十字に無事寄贈させていただいた旨のご報告とお礼状が届きました。この募金活動にご協力いただきました県民の皆様への心からのお礼とともに、ここに ご報告申し上げます。併せて、P-AOTSとの橋渡しにご尽力くださいましたHIDA一般財団法人海外産業人材育成協会(旧AOTS)職員の皆様にも心からの感謝を申し上げます。

フィリピン台風被災地の一日も早い復興をお祈りするとともに、東日本大震災から3年目を迎えた当地宮城においてもこの地に暮らす私たちは国籍の如何にかかわらず、これからも心を合わせ歩んで参りましょう。



## 国際交流事業等助成金のご案内

MIAでは、県民レベルでの国際活動をより推進するため、県内の国際活動団体等が企画・実施する各種の国際交流・協力、多文化共生推進事業に対して、助成金を交付しています。是非ご活用ください。

### ●助成対象事業

営利等を目的としない次に掲げる事業

1. 県内で開催する次に掲げる国際交流事業
  - (1) 地域住民の国際理解を深めるための普及啓発事業
  - (2) 地域住民と在県外国人等との交流事業
  - (3) 友好親善関係を軸とした外国人と地域住民との友好交流事業
2. 外国において、本県の優れた文化等を広く紹介するとともに、外国人と交流を図ることを目的として実施する事業
3. 開発途上国等の地域住民に対して行う各種の協力・支援事業
4. その他、地域の国際交流・協力の推進に寄与すると認められる事業

### ●助成対象者

1. 目的、組織、代表者など団体の運営に必要な事項について定めがあり、かつ、原則として1年以上の活動実績があるもの。

2. 県外に主たる事務所を有し、県内ではその支部組織等が活動している国際交流団体等(以下「支部組織等」という。)で、当該支部組織等の運営に必要な事項について定めがあり、かつ、1年以上の活動実績があるもの。

### ●受付期間

助成対象事業の実施時期	受付期間
7/1～ 9/30の間に開始する事業	4/1～ 5/10
10/1～12/31 //	7/1～ 8/10
1/1～ 3/31 //	10/1～11/10

### ●参考(平成25年度実績)

■Sendai at a Glance Vol.13発行【グループ虹】 ■2013美里町国際交流スプリングフェスタ【美里町国際交流フェスタ実行委員会】 ■みやぎ国際アート文化交流会【宮城AJET】 ■南三陸町国際交流協会日本語教室【南三陸町国際交流協会】 ■芋煮をかこんで国際交流【栗原市国際交流協会】 ■第14回国際交流まつり【多賀城市国際交流協会】 ■第5回北宮城英語朗読コンテスト【北宮城英語朗読コンテスト実行委員会】 ■第42回仙台YMCA国際青年クリスマス【財団法人仙台YMCA】

## ライブラリー

ライブラリーのコーナーで紹介されている図書は全て貸し出しまたは当協会図書資料室で閲覧可能です。

## みやぎの国際活動団体DIRECTORY2014 作成:(公財)宮城県国際化協会

宮城県内の国際活動団体約220の名鑑です。①県内市町村国際交流協会、②親善交流を主たる目的とする団体、③特定の国や地域との親善交流を主たる目的とする団体、④国際協力や支援を主たる目的とする団体、⑤在住外国人が主たる会員の活動団体、⑥在住外国人相談支援活動団体など、の6つのカテゴリーで構成されており、巻末には県内外の関係機関連絡先および国際活動を対象とした助成金の案内も掲載されています。

無料で配布しております。ご希望の方は当協会にお越しいただくか、宅配の着払い(県内の場合216円)でお送りしますので、気軽にお問い合わせください。

## 賛助会員募集

MIA(公財)宮城県国際化協会は、県民参加の幅広い国際交流を進め、人と人との輪を広げていくために、皆様の御理解と御協力を求めています。



- 賛助会員の資格  
本協会の趣旨に賛同し、運営活動に協力していただける個人や団体(国際活動団体、企業、機関)など
- 賛助会員の区分と年会費  
個人会員/1口 3,000円  
団体会員/1口 10,000円
- 賛助会員の特典  
◎協会機関紙「みやぎの国際情報誌 倶楽部MIA」の定期送付(年6回)  
◎「MIA多言語かわら版」(日・英・中・韓・葡)の定期送付(年6回)

- ◎当協会主催のイベントや各種講座の案内及び参加費の減免
- ◎個人会員については協会と提携する旅行会社が指定する国内外の旅行代金の一部割引(株)JTB東北仙台支店 宮城観光サービス(株)
- 入会方法  
◎本協会まで御連絡ください。  
◎所定の申し込み用紙と振り込み用紙を送付いたします。



倶楽部 MIA vol.72

編集・発行 公益財団法人 宮城県国際化協会  
 〒981-0914  
 仙台市青葉区堤通雨宮町4番17号  
 宮城県仙台合同庁舎7階  
 TEL 022(275)3796  
 FAX 022(272)5063

E-mail mail@mia-miyagi.jp URL http://mia-miyagi.jp/

